令和４年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人大阪市東成区社会福祉協議会

Ⅰ　法人運営事業及び地域福祉推進事業について

1　法人運営事業　　（事業活動支出　7,121,242 円）

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出される中、令和４年度においては、所轄関係各所からの情報収集とともに、法人組織内一丸となって感染予防対策を講じながら、事業再開に向けての支援等に取り組んだ。

（職員体制　市社協出向職員 15 人/嘱託職員 24 人/非常勤職員 39 人）

法人会議開催日	理事会	令和４年５月 26 日（木）	令和４年６月 14 日（火）	令和４年８月３日（水）※書面
		令和４年 12 月 20 日（火）※書面	令和５年３月 27 日（月）	
	評議員会	令和４年６月 14 日（火）	令和４年８月 22 日（月）※書面	令和５年３月 27 日（月）
	評議員選任・解任委員会	令和４年６月３日（金）	令和５年１月 20 日（金）	

①　会員の拡充　　会費収入計 2,377,000 円

②　調査･研究活動

- 各事業における参加者、従事者等へのアンケート実施によるニーズ把握に努めた。
- アンケート、統計調査依頼にかかる協力（回答）等を行った。
  全社協、府社協、大阪市（関係局・課）、大阪市社協、その他（民間調査機関）

③　人材育成

- オンライン（インターネット環境を活用して実施の会議・連絡会・講習会への参加等）
- 保育・社会福祉士実習生の受け入れ

④　広報活動の充実

ア　広報紙　社協だより「ひがしなり」の発行(年２回)

イ　情報発信　ホームページ　新着情報・注目情報　　＊Facebook での情報発信随時

ウ　子育て支援情報紙「ふれあい子育てねっと」発行（年６回／奇数月発行）

エ　“きづくちゃん”の区内でのふれあい・交流参加広報活動

- ふれあい広場、東成区二十歳のつどい

オ　館内ロビー掲示板、カタログ閲覧、オープン相談スペースの活用

※　感染予防対策　バナー設置（マスク着用の呼びかけ、検温、手指消毒等）

⑤　共同募金運動への協力　　【令和４年度　共同募金総額　6,356,326 円】

- 大阪府共同募金会と地区募金会との事務連絡調整
- 募集案内の広報・周知、募金の受付、専用経理ソフトでの資金管理と年度決算報告
- 募金型自動販売機の設置による売上金の一部寄付実績
  R3.12 月～R4.11 月　合計 12,727 円

⑥　日本赤十字社の活動への協力

- 日本赤十字社大阪府支部との事務連絡調整、資材の配布、社資募集と義援金の受付
- 東成区赤十字奉仕団の事務費管理

Ⅰ　法人運営事業及び地域福祉推進事業について

２　善意銀行事業　　**（事業活動支出　　474,879 円）**

区民の皆様や団体、企業の方などからの寄付を、地域福祉向上・推進のため助成金払出しにより活用。

令和４年度寄付金及び払出実績

預託寄付数 3 件　21,690 円／物品寄付 3 件(菓子缶ジュース・リサイクル子供服・アルコール消毒液)

預託払出　3 件　444,069 円

東成地区保護司会設立 70 周年記念事業（記念誌作成）

東成区更生保護女性会設立 60 周年記念事業（記念誌作成）

地域福祉活動推進支援助成事業

３　福祉募金事業　　**（事業活動支出　　1,082,820 円）**

募金実績による東成区地域女性団体協議会と校下社協への助成金を執行。

区レベルの地域福祉活動団体の活動支援を目的とした助成は、コロナによる活動自粛から、徐々に事業が再開され、申請が増えた。

募金実績　1,160,380 円　　助成額計　1,080,400 円（6 団体）　事務費計　2,420 円

４　区地域福祉活動支援事業交付金　　**（事業活動支出　40,095,556 円）**

コロナ禍での地域福祉活動を推進するために、校下社会福祉協議会等の役員や地域福祉活動者に対して情報提供や地域福祉活動再開に向けた支援を実施。

①　地域福祉活動に対する助言・指導等事業

ア　地域福祉活動の状況把握と支援や情報提供

・　校下社協・地区ネットワーク委員会等の役員への運営支援、地域福祉活動者の活動支援。また、新型コロナウイルスの影響により中止となった地域福祉活動の再開に関する助言指導、情報提供。

・　校下社協・地区ネットワーク委員会等が、地域で実施している「見守り・声かけ活動」「ふれあい型高齢者食事サービス事業」「ふれあい喫茶活動」の状況を把握し、活動者とともに活動方法について検討し、それに伴う活動者への助言、指導を行った。

イ　地域福祉活動にかかわる役員・活動者を対象とした研修会等の開催及び支援

・　校下社協、地区ネットワーク委員会の役員、活動者、ボランティアを対象とし、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた地域福祉活動の実施に向けて話し合いを行った。また、福祉課題の解決方法について情報提供や活動者への支援を行った。

・　認知症への理解を深めることを目的として、239 名の参加のもと社会福祉講演会(映画上映)を令和５年1月28日（土）に開催した。

ウ　東成区地域福祉ビジョン・東成区地域福祉アクションプラン等の推進

・　東成区地域保健、地域福祉ビジョンの推進、区役所との連携協定会議において、地域福祉課題の解決に向けて検討し、情報共有を行った。

Ⅰ　法人運営事業及び地域福祉推進事業について

エ　地域支援システム等の検討・推進への参画

・　東成区地域包括ケアシステム等における会議、障がい者自立支援協議会等へ参加し地域福祉課題を把握するとともに、地域福祉の推進について検討を行った。

・　各地域において、地域ケアネットワーク連絡会を地区ネットワーク委員・民生委員、区役所、福祉や介護の専門職と開催し、地域福祉課題の状況把握、個別支援の情報共有をはかり解決に向け検討を行った。

【各校下地域ケアネットワーク連絡会　開催状況】

開催回数	参加者数(延べ)	内訳(延べ)	
89 回	875 人	地　域	319 人
		区役所・専門職	283 人
		区社協	273 人

オ　広報・啓発

・　広報紙　社協だより「ひがしなり」　2 回発行（80・81 号）

・　子育て支援情報紙（年 6 回発行）

各地域子育てサロン活動案内、区子育てイベント案内など掲載

・　ホームページの更新：36 回／フェイスブックでの情報発信：36 回

②　ボランティア活動等の支援事業

ア　ボランティア活動の支援

・　デイサービスや区内施設からボランティアの活動依頼があり、活動の需給調整。

・　子ども・子育てプラザや区役所、子育て支援センターから一時保育のボランティア活動依頼があり、登録している個人ボランティアで活動の需給調整。

・　ボランティアグループのメンバー募集のチラシの作成や活動について周知協力。

・　新しいボランティア活動者の登録促進、ボランティア講座の開催。

イ　小、中学生や地域住民等を対象とした福祉教育の推進及び啓発

「障がいのある人もない人も、地域で、社会で、ともに助け合ってともに生きていく」という考え方を持つことができるきっかけとなるような福祉教育を実施。

・　東小橋小学校 3 年生

第 1 回目　パラスポーツ「ボッチャ」体験

第 2 回目　視覚障がい当事者（盲導犬ユーザー）の講話、アイマスク手引き体験

第 3 回目　振り返りのまとめ学習　自分たちでできることを発表

・　片江小学校 5 年生

車いす体験、自立生活センターおおさかひがしより当事者による講話

ウ　きづくちゃん「たすけ愛」活動の会(会員同士の有償による助け合い活動)事務局

・　活動を通じて、暮らしの中のちょっとした困りごとの解決やつながりづくりを推進。

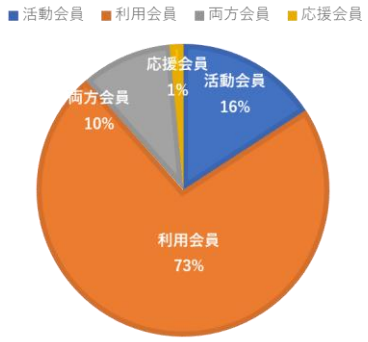
・　年間活動件数　762 件

（内訳：家事 360 件買物 263 件外出 134 件交流 0 件その他 5 件）

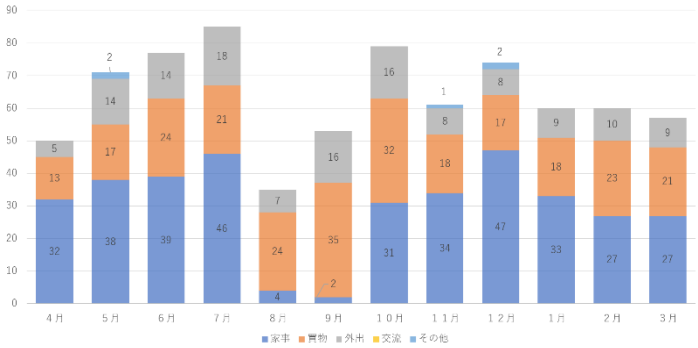
・　会員数 278 人（男性 67 人：女性 211 人）内：新規会員登録者数　58 人

（内訳：活動 44 人/利用 202 人/両方 28 人/応援 4 人）

令和４年度の会員状況



令和４年度の活動実績



③　地域福祉推進のための連絡調整

地域福祉課題の整理及び関係機関との連絡調整、課題解決方策の検討・協議

・　区地域包括ケアシステム関連会議及び精神障がい者地域生活支援センター運営委員会等に参加し、地域福祉課題の状況把握を行い課題解決に向けて検討、協議した。

・　地域自立支援協議会への会議に参加。地域福祉課題の状況を把握し、課題解決に向け協議した。

④　「区災害ボランティア活動支援センター」の設置及び総合調整等

・　「区災害ボランティア活動支援センター」の設置について、区役所等関係機関との連絡調整会議、研修会に参加（2 回）

・　「区災害ボランティア活動支援センター」設置に必要な器具・備品等購入

⑤　車いす等の貸出事業

ア　車いす貸出事業

各校下社協の協力を得ながら、高齢者、障がい者(児)、一時的な病気やけがなどで歩行困難な方に車いすの短期貸出を実施。

年間貸出件数　133 件

貸出用車いす　　介助式　　自走式　　子供用

Ⅰ　法人運営事業及び地域福祉推進事業について

５　共同募金配分金事業　　**（事業活動支出　5,705,129 円）**

共同募金配分金を活用し、高齢者福祉事業等を推進することで、それぞれが孤立することなく、また、つながりづくりなどができるよう事業を実施。

①　高齢者福祉事業

ア　高齢者福祉月間の推進及び金婚お祝い

・　高齢者福祉月間　各地域において開催の敬老会等への支援

・　金婚夫婦への祝記念品の贈呈　　全校下対象計　160 組

②　児童･青少年福祉事業

ア　東成区民まつりへの出展・参加

・　雨天の影響により東成区民まつり中止。

③　障がい者(児)福祉事業

ア　緊急用食料品等給付事業

・　20 代 1 人、30 代 1 人、40 代 2 人、50 代 1 人、60 代 2 人、70 代 2 人、80 代 1 人の合計 10 人に対し、緊急時の支援を実施。

認知症の高齢者、制度の狭間の方々に対し、３日分の缶詰やお米を提供。また、ケースワーカーとの連携、配食サービス等の情報提供、生活の立て直しに必要な支援を行った。

イ　就職面接時整容準備事業(就職面接用スーツの給付等)

・　就職に向けた準備に関する相談及び給付実績…なし

ウ　福祉専門職を対象とした講座(研修)の開催

・　コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は講座（研修）開催を中止。

④　福祉育成･援助事業

ア　東成福祉まつり「ふれあい広場」の開催

開 催 日：令和 4 年 11 月 5 日（土）

開催場所：コミ協ひがしなり区民センター及びセンター前広場

来 場 者：825 人　　従 事 者：270 人

・　誰もが認め合い、支え合いつながり合うことができる東成区の福祉のまちづくりをめざし、さまざまな区民が出会い交流できる場として、また福祉関係者が協働する場としていくことを目的に『再発見　あつい　つながり　ひがしなり』をテーマにコミ協ひがしなり区民センター及びセンター前広場において 3 年ぶりに開催。

イ　校下社会福祉協議会の活動支援

・　各校下社会福祉協議会が実施する継続的な地域福祉活動や敬老会等に配分助成し、敬老会等の地域福祉活動を支援した。

ウ　民生委員協議会の活動支援

・　各地区民生委員協議会が実施する児童施設友愛訪問事業等へ配分助成。

Ⅰ　法人運営事業及び地域福祉推進事業について

エ　社会福祉講演会（映画上映）の開催

開 催 日：令和５年１月 28 日（土）

開催場所：コミ協ひがしなり区民センター（2 階）大ホール

来 場 者：239 人

内　　容：映画上映「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～」

オ　広報・啓発

・　社協だより「ひがしなり」　年２回発行

募金への協力、募金箱設置場所等の周知案内、募金を活用した活動の紹介

・　ホームページの更新作業

６　ボランティア活動・市民活動の推進・地域福祉推進基金事業（事業活動支出　1,245,940 円）

ボランティア活動・市民活動を推進するために、東成区ボランティア・市民活動センターの運営を行い、コロナ禍でのボランティア活動やボランティアグループの活動の支援を実施。

①　東成区ボランティア・市民活動センターの運営

ア　運営委員会の開催　　年３回（7 月、12 月、3 月）

・　ボランティア・市民活動センターへの相談や活動状況を報告。ボランティア活動・市民活動の支援と、その推進方針について運営委員と協議

開催年月日	議　　題
令和４年７月 28 日 （木）※書面	・令和４年度東成区ボランティア・市民活動センターの取り組み経過報告について ・ボランティアコーディネーションの現状について(4～7 月)
令和４年 12 月 15 日 （木） 区在宅ＳＣ/出席８人	・令和４年度東成区ボランティア・市民活動センターの取り組み経過報告について ・ボランティアコーディネーションの現状について(8～12 月)
令和５年３月 10 日 （金） 区在宅ＳＣ/出席 10 人	・令和４年度東成区ボランティア・市民活動センターの取り組み経過報告について ・ボランティアコーディネーションの現状について(1～3 月)

イ　地域福祉活動推進支援助成事業の実施

・　善意銀行運営委員会、地域福祉推進基金運営委員会の開催により、払出先の審査決定

助成経費　230,000 円（16 団体へ助成）

②　ボランティア活動への支援

・　ボランティア活動への支援やボランティアグループの活動支援

・　活動の需給調整・相談 973 件／依頼件数 23 件／活動回数 18 回

活動に従事したボランティアグループの活動件数 12 件

活動に従事した個人ボランティアの総数 48 人

新型コロナウイルスの感染拡大が緩和されてきた影響から、区内の高齢者施設や子ども支援施設からのボランティア依頼が増えた。

Ⅰ　法人運営事業及び地域福祉推進事業について

【ボランティア養成事業】

	開催年月日	事業名称	備考（内容・参加人数）
1	令和４年 11 月 11 日(金) ～12 月 22 日（木）	子育て支援ボランティア講座	全８回　参加者 18 人
2	令和５年２月 25 日（土）	災害ボランティア講座 ～備えよう、水害から命を守るために～	参加者 18 人
3	令和４年４月 18 日（月） ～3 月 8 日（水）	きづくちゃん「たすけ愛」活動の会 ボランティア養成講座	11 回開催　参加者 14 人

③　広報・啓発活動

・　情報発信機能を強化し、広報・啓発を実施。

	事　業　名　称	備考 （内容・啓発先等）
1	さまざまな媒体を利用した情報発信	ボランティア通信（2 回）発行 Facebook・ホームページでの情報発信 ボランティアリーフレットの作成 サロンマップの作成
2	区社協だよりへの掲載	年１回

Ⅱ　介護保険法による事業

7　地域包括支援センター事業　（事業活動支出　78,141,435 円）

大成・今里・神路・深江・片江地域を圏域とする東成区南部地域包括支援センター業務を平成 28 年度より大阪市から受託している。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、総合相談（個別相談）や地域のネットワークづくりを行っている。

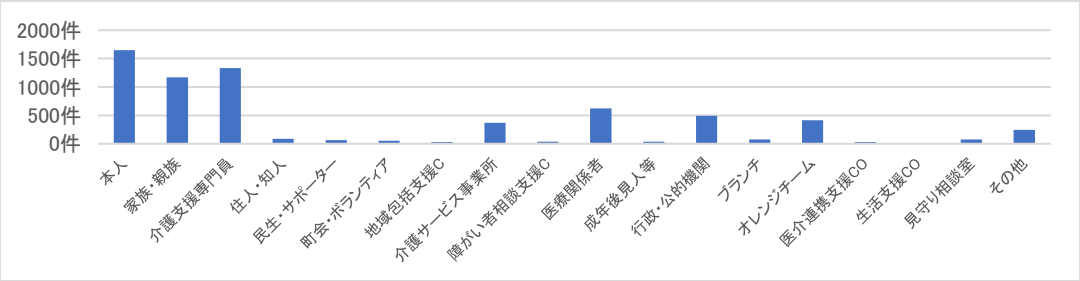
①　総合相談

高齢者の総合相談を実施。高齢者の状況に応じて必要な支援につないでいる。

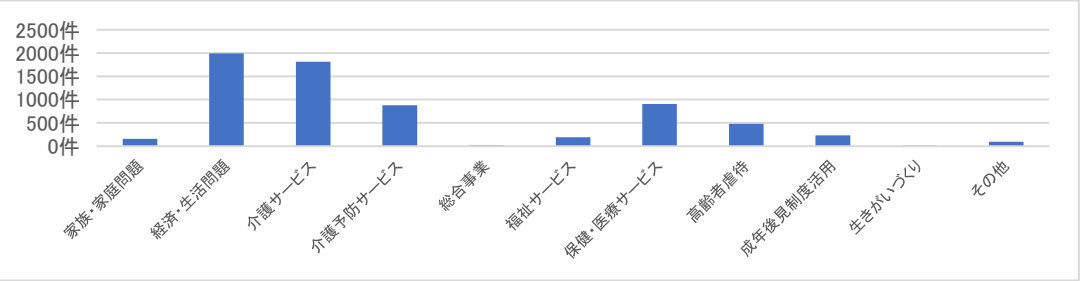
【相談件数】延べ件数 6,784 件　実人員 802 人　（要支援でケアプラン契約者は除く）

【新規相談件数】432 件（月平均：36 件）

※相談経路（圏域全体）



※相談内容（圏域全体）



②　虐待の早期発見・防止などの権利擁護

高齢者虐待の早期発見・防止のための地域支援体制づくり、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のための情報提供。

【高齢者虐待】通報・相談件数 22 件（うち虐待と判断したケース 8 件）

【成年後見申立て相談】　10 件（うち成年後見人等 6 件選任）

【権利擁護の啓発】東成区民生委員・児童委員協議会で高齢者虐待研修を実施。
包括だよりにて高齢者虐待、成年後見制度、悪質商法を掲載。

③　包括的・継続的ケアマネジメント支援

介護支援専門員の個別相談を受け、北部地域包括支援センターとともに居宅介護支援事業者連絡会の運営支援や介護サービス事業者連絡会等を開催し、介護支援専門員を支援。

様々な連絡会等に参加し高齢者への支援が切れ目なく提供できるように課題を共有し活動。

（介護支援専門員への支援）延べ 1,333 件

（居宅介護支援事業者連絡会運営支援）執行部会 11 回、連絡会 11 回、計 22 回

（介護サービス事業者連絡会）連絡会 4 回

（その他）特養・老健連絡会 11 回、有料・サ高住連絡会 5 回、
グループホーム連絡会 8 回　等

Ⅱ　介護保険法による事業

④　介護予防ケアマネジメント

要支援者や要支援状態になるおそれのある方に対するケアマネジメントの実施と介護予防（自立支援）に関する啓発活動を実施。

【要支援１・２の方へのケアプラン作成】

・　月平均 624 件

	介護予防支援 年間累計	第１号介護予防支援 年間累計
包括作成	0 件	0 件
一部委託	4,967 件	2,530 件

⑤　家族介護者支援

【家族介護者の会「ばらの会」の運営支援】年６回開催

【映画上映会】「ぼけますから、よろしくお願いします」

⑥　認知症高齢者支援

【認知症サポーター養成講座】東中本保育所、日本総合住生活㈱

【オレンジかふぇ東成】コロナ禍のため開催なし

【認知症カフェ連絡会】コロナ禍のため開催なし

【知って得する連続講座】「口腔ケアで出来る!!認知症予防！」

⑦　周知・啓発活動

【センターだより】毎月 400 部発行。区役所・商店街・マンション掲示板・薬剤師会会員へ配布／特別号(敬老会用)4,000 部発行。地域活動の場や関係機関に配布

【出張相談会】「そなエール！」東成しんみちロードＰＡＴＲＩにて、月１回開催

⑧　地域ケア会議

高齢者が住み慣れた地域において自立した生活が続けられるよう、地域関係者や保健・医療・福祉の専門職等が継続的な支援を検討する会議を開催。

【個別支援のための地域ケア会議の開催】

	大成	今里	神路	深江	片江	全体
回数	8 回	1 回	4 回	1 回	21 回	35 回
実人数	5 人	1 人	3 人	1 人	14 人	24 人

【自立支援型ケアマネジメント検討会議開催】

・　検討会議５回開催し、10 ケースについて検討。

・　小会議６回開催し、事例検討に加え、ミニ研修を実施。

【地域課題整理のための地域ケア会議の開催】

・　個別支援のための地域ケア会議等から見えてきた地域生活課題（案）を作成し開催。

・　自立支援型ケアマネジメント検討会議から見えてきた地域生活課題（案）を作成し開催。

・　取りまとめた見えてきた課題を区地域包括支援センター運営協議会で報告。

Ⅱ　介護保険法による事業

８　生活支援体制整備事業　　**（事業活動支出　12,827,932 円）**

住民の多様な参加、参画により高齢者の社会参加と地域における支え合い体制づくりをすすめ、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい生活を送ることができる社会の実現を目ざし実施。

①　地域資源の把握・ネットワーク化

ア　地域の福祉活動や会議、専門職の会議等に参加し、介護予防、生活支援にかかる資源とニーズを把握

地域の福祉活動や会議等への参加	497 回（第 1 層:127 回　第 2 層:370 回）
専門職等との会議等への参加	102 回（第 1 層:69 回　第 2 層:33 回）

イ　第 1 層協議体会議の開催　1 回（7 月）

開催日時	内容
令和 4 年 7 月 26 日（火） 東成区役所別棟 301 会議室	■令和 3 年度　生活支援体制整備事業の取組報告について ■令和 4 年度　生活支援体制整備事業計画について

ウ　第 2 層協議体（北部圏域）の開催　1 回（2 月）

開催日時	内容
令和 5 年 2 月 24 日（金） 在宅サービスセンター 多目的室	■生活支援体制整備事業について ■元気で暮らすための「備え」について

エ　第 2 層協議体（南部圏域）の開催　1 回（2 月）

開催日時	内容
令和 5 年 2 月 21 日（火） 在宅サービスセンター 多目的室	■生活支援体制整備事業について ■「元気マップ（東成区南部地域 ver）」の作成について

②　地域資源・サービスの開発

ア　地域福祉活動サポーターと連携したつどいの場づくり、活動に参加しやすい取組みの充実

- 神路地域　「神路映画会」　新規立ち上げ
- 東小橋地域　「東小橋駄菓子屋さん」新規立ち上げ
- 東中本地域　「ふれあい喫茶」再開支援

イ　介護サービス事業者や、民間事業者等多様な活動主体と連携したつどい、運動の場づくり

- 「在宅生活応援！新しい生活様式 知恵と工夫の SHARE プロジェクト」の継続
  東成区リハビリテーション連絡会・入浴サービス株式会社と企画、運営。
  新しい生活様を踏まえた生活の工夫を継続して募集。区民 3 人からエピソードの応募があった。

Ⅱ　介護保険法による事業

③　活動の場の発掘・開発

ア　活動の担い手につながる講座の開催

・　愛ボッチャ審判講習会（初級）の開催

　地域等でボッチャを活用した取組みが実施できるように、ルールを説明することができる審判の養成を目的に開催。

イ　大学生と連携した、新たな活動の場の発掘・開発に向けた取り組み

・　地域における「スマホ講座」の開催

　スマートフォンの操作やアプリのインストール方法について等の分からない点を解消し、スマートフォンを活用できるようになることで、つながりが無くならないようにすることや情報の取得ができるようになることを目的に開催。

　大学生が講師となり、マンツーマンで対応しているため世代間交流にもなっている。

④　サービス実施情報の提供・周知

ア　介護予防と生活の質の向上につながる情報を掲載した情報紙の作成

ＳＨＡＲＥかわらばん

・　新しい生活様式を踏まえた生活の工夫エピソードを継続して募集し、幅広い世代に対して周知を行うため、地域の敬老会や成人式で配布。また、SHARE book の周知と新しい生活様式での生活、助け合い活動の工夫を定期的に情報発信していくため、「SHARE かわらばん」を作成し配布。

イ　知って得する連続講座　予防編の実施（企画：包括的支援事業連絡会）

　「骨粗鬆症の予防」をテーマに各地域への出前講座を開催。148 人（昨年度比：18 人増）が参加。アンケートでは 98％が「満足」、「やや満足」と回答。「運動」や「栄養」について講座受講後にやってみたいこととして割合が高かった。

ウ　医療・福祉専門職向け情報発信

・　東成区居宅介護支援事業者連絡会及び東成区介護サービス事業者連絡会へ、毎月「地域のおたより」情報発信

Ⅱ　介護保険法による事業

９　住民の助け合いによる生活支援活動事業　　（事業活動支出　27,250 円）

「介護予防ポイント事業」の活動登録者が、要支援者等に対し、生活援助活動を行うことにより、自身の生きがいづくりと介護予防を推進するとともに、要支援者等の生活の質の確保及び向上を図り、地域における住民相互の助け合いの体制づくりを推進することを目的として実施する。

①　活動登録の促進及び活動者への支援

ア　活動者が無理なく活動でき、自身の介護予防につながることを理解できる研修実施

- 大阪市社会福祉協議会と合同で介護予防ポイント事業登録時研修（施設活動コース、在宅活動コース）を 2 回開催し、延べ 1 人名が参加。
- ボランティア・市民活動センター独自で介護予防ポイント事業説明会（施設活動コース、在宅活動コース）を 3 回開催し、6 人が参加。
- 介護予防ポイント事業（在宅活動コース）登録者　累計 33 人

イ　法人広報紙、チラシ作成、地域福祉活動の場等での事業周知

- 各校下ケアネットワーク連絡会
- 老人福祉センター
- 個人ボランティア/ボランティアグループ
- きづくちゃん「たすけ愛」活動の会登録会員に郵送
- 介護予防教室（マシンを使った運動教室・健康サポートプログラム）の参加者へ口頭で研修の周知

ウ　活動者同士で学び合えるよう、活動者の知識・技術・経験をシェアする場の定期的な設定

助け合い事業の利用状況の報告や会員同士の交流、つながりづくりを目的に「会員のつどい」を開催。

令和 4 年　5 月 24 日（火）10:00～11:30
令和 4 年　 7 月 6 日（水）10:00～11:30
令和 4 年　9 月 10 日（土）13:30～15:00
令和 5 年　2 月 25 日（土）10:00～11:30

②　利用者への支援

ア　利用対象者の居宅訪問によるアセスメント実施及び活動登録者の活動調整（3 件）

イ　ケアマネジャーが作成する介護予防サービス計画の確認による、他の第 1 号訪問事業との同月における重複利用の管理（9 件）

ウ　居宅介護支援事業所連絡会参加等でのケアマネジャーに対する事業主旨の促進（4 回）

Ⅱ　介護保険法による事業

10　介護予防教室（なにわ元気塾）事業　　（事業活動支出　8,138,462 円）

いきいき教室

11 校下の憩の家や地域集会所で、介護予防や外出の機会の創出、交流を目的とした運動、認知症・うつ予防、栄養、口腔などのプログラムを「いきいき教室」の愛称で実施。

【参加者　延べ 1,557 人】（前年度比＋343）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	累計
地域数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
参加者	134	128	138	128	104	128	133	131	137	131	132	134	1,557

運動

お口の健康

笑いヨガ

運動教室　独自実施

『マシンを使った運動教室』

運動機器を活用した介護予防教室の実施（3F トレーニングルーム）

第 1 クール（4～7 月）（各 12 回実施）

参加者累計／火：114 人　水：113 人　金：112 人　計 336 人

第 2 クール（10～12 月）（各 12 回実施）

参加者累計／火：114 人　水：105 人　金：113 人　計 332 人

第 3 クール（1～3 月）（各 12 回実施）

参加者累計／火：98 人　水：113 人　金：115 人　計 326 人

【参加者　延べ 994 人（実人数 90 人）】（前年比+40）

『健康サポートプログラム　A コース　B コース　（隔週月曜日）』

マシンを使わずモビバンやボールを使い運動の取り組みを促すため継続開催。立ち座りや歩く、階段の登り降りなどの日常動作に必要な筋力をつけ、転倒予防、健康の維持・増進を目的としたトレーニングを行なう。　毎月 2 回、多目的室にて実施。1 コース 20 人登録　計 40 人

前期　4～8 月　10 回実施　参加者累計/A：177 人　B：160 人　計 337 人

後期　9～2 月　10 回実施　参加者累計/A：185 人　B：170 人　計 355 人

登録 40 人【参加者　延べ 692 人】（前年比　+335）

マシンを使った運動教室

健康サポートプログラム

Ⅱ　介護保険法による事業

11　地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護事業　　（事業活動支出　17,789,660 円）

要介護１から要介護５の認定を受けた方への介護サービスと要支援１・２の方への介護予防サービス　（送迎・入浴・食事・レクリエーション等）を行う。

- サービス提供時間(基本)　平日午前９時 30 分～午後３時 30 分（送迎を除く）
- 高齢者の閉じこもり防止、ふれあいの場の提供、家族の介護負担軽減等の役割を担う。
- 利用者や家族の要望に応えるサービスとなるよう、実施内容の充実に向け検討を行う。
  運営推進会議の開催　２回（10 月・３月）／スタッフ会議の実施　12 回（日常の申送りを除く）
- 地域のボランティアグループやサークル活動者との交流レクリエーション
- 手作りおやつなどのクッキングレクリエーション※感染予防対策の強化により実施減少

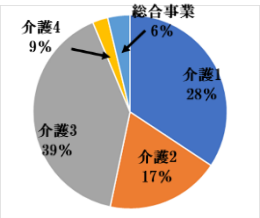
○　開設稼働日数　241 日

○　利用人数　　延べ 1,543 人

内訳　地域密着型通所介護 1,447 人　／　総合事業 96 人

○　研修実施

フロアスタッフミーティング等を活用して内部研修を実施し、情報共有や（資料の閲覧等含む）意見交換を行った。



利用者介護度割合

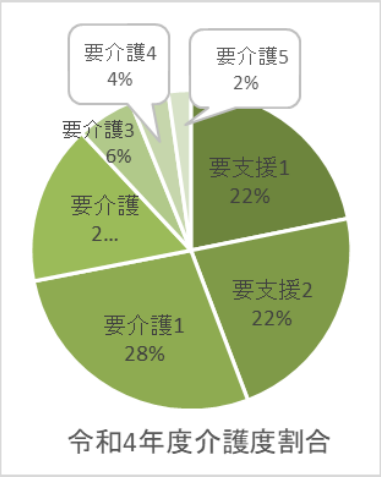
○レクリエーション

季節の壁画づくりやクリスマス会などの行事や近隣公園等への外出を含め、好評だった。

12　居宅介護支援事業　　（事業活動支出　8,038,645 円）

介護に関する相談に応じ、利用者の生活の質の向上や家族の介護負担の軽減に努める。介護保険サービスやその他のサービス利用に必要なケアプランを作成し、利用者と家族を支援。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	16	14	15	10	5	2	1	63
5月	15	13	18	10	4	2	1	63
6月	14	13	17	10	3	3	2	62
7月	16	14	19	15	3	3	2	72
8月	14	13	20	11	3	3	1	65
9月	13	14	21	12	3	3	1	67
10月	14	15	22	11	4	4	1	71
11月	14	16	20	12	5	3	2	72
12月	15	16	20	10	5	3	2	71
R5/1月	16	15	20	11	5	3	2	72
2月	14	15	19	11	4	2	2	67
3月	20	28	19	11	4	1	2	85
0	181	186	230	134	48	32	19	830



◎　東成区居宅介護支援事業者連絡会（リモート）毎月１回

◎　自立支援型ケアマネジメント検討会議参加（小会議）５回

◎　「薬物の問題を抱える方への支援について」研修参加

◎　視聴研修（集団指導・人権・社協等）

◎　施設見学（短時間デイ２事業所）

Ⅲ　市・区・市社協からの事業受託による事業

13　地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業　　（事業活動支出　16,959,974 円）

機能①では、支援につながっていない要援護者への支援や災害における避難支援等を目的に、名簿作成と地域への提供を行い、見守り活動につなげるために学習会を開催した。機能②では、同意確認の中から支援につながっていない人や、孤立死のリスクが高い人等をアウトリーチにより支援につなげている。また、認知症等による行方不明者が年々増加しているなか、機能③において、早期発見のためのメール登録推進と、地域で安心した暮らしや変化に気づき互いに支えあるまちづくりをめざして、住民や専門職と共に声かけ訓練を開催した。

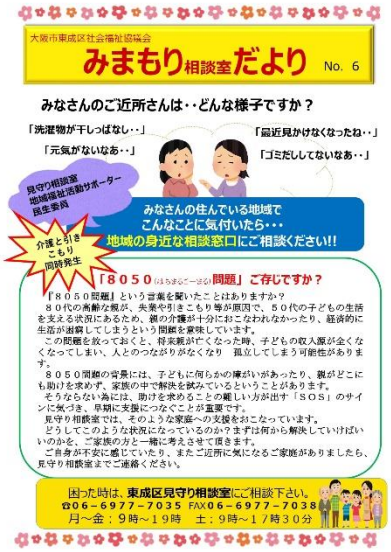
①　要援護者名簿にかかる名簿の整備（機能①）

令和４年度：郵送及び訪問による同意確認

【郵送による同意確認】

発送数	同　意	不同意
587	343	54

全地域一斉に発送。
発送前には各地域における班回覧での
住民への周知や、介護保険事業者への説明を実施。



【訪問による同意確認】

同意	不同意
164	157

複数回訪問しても回答が得られない、
区で確認しても不明な場合、
民生委員の協力を得て訪問を実施。

【令和４年度までの回答者累積数】

累積対象者	同意者数	不同意者数	未回答者数
8,500 人	5,177 人	1,511 人	1,812 人

【各地区民生委員へ提供した名簿対象者数】

東小橋	150	大成	277	今里	190	中道	142
北中道	341	中本	307	東中本	589	神路	462
深江	406	片江	457	宝栄	326	計	3,647

各地区民生委員へは、同意者の他、発送対象ではない軽度（要支援１・2/要介護１・2）の方についても名簿提供を実施。

また、見守り訪問のきっかけとして活用していただくため、見守りだよりを提供した。

Ⅲ　市・区・市社協からの事業受託による事業

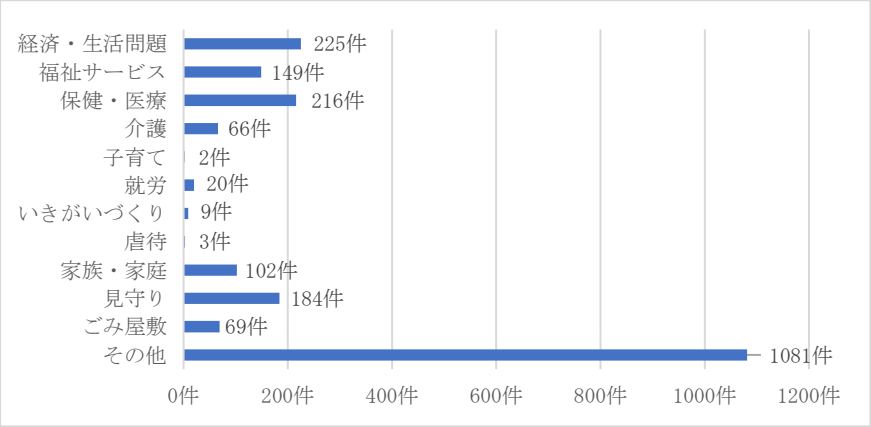
②　孤立世帯等への専門的対応（機能②）相談実人員 485 人（男性 195 人/女性 279 人/不明 11 人）

- 地域や社会のつながりから孤立している方や制度の狭間に陥るような課題をもっている方への対応を行った。
- 地域住民、関係機関、専門職の情報から支援が必要な方を把握し、連携しながらアプローチを行った。
- ライフライン事業者からの通報により区役所と連携し、世帯状況の把握と現場での安否確認を実施した。
- 名簿整備の際に知り得た情報から、複合的な課題のある世帯へ粘り強く積極的な働きかけを実施した。
- 地域の友愛訪問等に同行し、地域の課題の掘り起しや見守り活動の支援を行った。

【相談延べ件数】

訪問	電話	来所	その他	合計
971	325	23	30	1,349

【相談内訳】

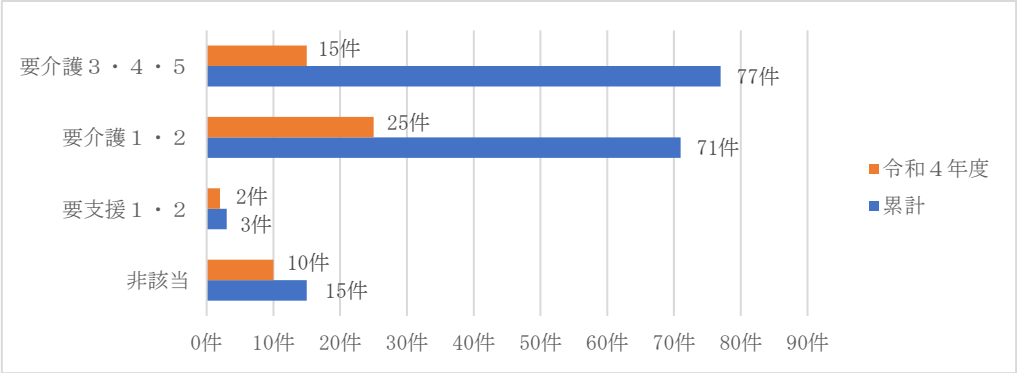


※その他については、認知症高齢者等に関する相談、警察に保護されたことによる相談内容等

【ライフライン事業者からの通報対応】

新聞販売店より 1 件通報あり。新聞が 1 週間分溜まっているとのことで、職員が急行し、レスキュー隊等を要請。その後本人が入院していることが確認でき事業者へ報告をおこなった。

③　認知症高齢者等の行方不明時の早期発見（機能③）



見守りメール登録者 166 人（男性 64 人・女性 102 人）　令和 4 年度新規登録者 52 人

Ⅲ　市・区・市社協からの事業受託による事業

【見守りメール配信結果】（10 件）

区内発見	5 件	市内発見	5 件	府外発見	0 件

【警察から情報提供】

今年度、情報提供のあった事案 97 件について、保護までの経緯や介護サービス利用状況等確認し、必要に応じて、見守りメールやおまもりネット事業の登録・介護サービスへつないだほか、地域包括支援センター、オレンジチーム、地域福祉活動サポーター、民生委員と連携を取り情報共有を図った。

【見守り声かけ訓練の開催】

繰り返し訓練することが必要との声から見守り声かけ訓練を実施した。ひとりの時でも声掛けができるように声掛けマニュアルを作成する必要性がある他、訓練の効果的な実施方法について検討しながら、今後も継続的な開催をめざす。

【協力者連絡会】

「地域における見守りネットワーク強化事業協力者連絡会」を開催。改めて事業の説明及び当事業で携わった事例についての紹介、また、誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくりをめざした意見交換の機会となった。

14　おまもりネット事業を活用した高齢者・障がい者等支援ネットワーク強化事業

（事業活動支出　22,755,009 円）

ネットワーク強化事業は、おまもりネット事業を活用し、高齢者・障がい者等が地域とつながりを保ちながら、安心して暮らしつづけられるようにすることを目的とした事業。

区民の新たなボランティア活動に参加するしくみづくりの推進。

①　おまもりネット事業の推進

ア　おまもりネット事業の推進による「ひがしなり WELL-LINE」との協働

- 相談件数　　年間 399 件
- 新規登録人数　　352 人（内障がい者 2 人）
- 今年度末の総利用者数　　5,759 人（内障がい者 109 人）
- 東成区役所 1 階のふれ愛パンジー、区内の銀行等において「おまもりネット事業説明・申込会」を開催。
- 障がい者版の広報・周知については、社協だよりなどの広報紙への掲載をはじめ、関係機関や地域集会所等にチラシを設置し啓発に取組む。
- 登録内容の更新強化月間を設け各校下地域集会所などにおいて、更新受付実施。

②　地域福祉活動の推進

ア　ふれあい型高齢者食事サービス事業の推進

- ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、食事サービスを行い、ボランティアによる見守り活動やつながりづくりを推進
- お弁当と一緒に季節のお手紙を配布するなどコロナ禍であってもつながり、楽しみとなるように工夫をして実施している。

Ⅲ　市・区・市社協からの事業受託による事業

【高齢者食事サービス事業の開催状況】

月	開催回数	参加者（人）	ボランティア（人）
4 月	21	905	122
5 月	18	789	99
6 月	19	847	93
7 月	22	994	122
8 月	15	689	70
9 月	15	593	84
10 月	21	917	124
11 月	15	693	96
12 月	17	776	98
1 月	14	642	147
2 月	21	962	124
3 月	24	1, 069	160
計	222	9, 876	1, 339

・　9 地域で実施回数　222 回・参加者　延べ 9, 876 人・活動者　延べ 1, 339 人

イ　ふれあい喫茶・サロン活動の推進

・　地域におけるつながりの希薄化という課題の解決を目的に住民がお茶を飲み交流を深め、つながりづくりができる場として喫茶・サロン活動を支援

・　サロンの開催にあたり、感染症対策について助言指導

【ふれあい喫茶・サロン活動状況】

月	開催回数	参加者（人）	ボランティア（人）
4 月	17	230	44
5 月	17	321	59
6 月	22	373	80
7 月	19	276	73
8 月	15	238	46
9 月	16	280	53
10 月	20	408	67
11 月	22	441	75
12 月	17	320	59
1 月	13	258	73
2 月	19	346	76
3 月	22	416	84
計	219	3, 907	789

・　9 地域で実施　219 回　・　参加者　延べ 3, 907 人　・　活動者　延べ 789 人

Ⅲ　市・区・市社協からの事業受託による事業

ウ　子育て支援活動の推進

・　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子育てサークルは定例の開催に至らず、区内 9 地域での不定期開催にとどまった。冬にはインフルエンザの流行もあったため、最終的に 56 回の開催、参加者は延べ 313 人、活動者は延べ 235 人であった。

エ　見守り・声かけ活動の推進

・　各校下で実施しているさまざまな見守り声かけにかかわる活動について、活動者を支援し、福祉課題の解決へつなぐ

相談件数…延 256 件

家族、町会長、民生委員及び専門職等からの相談件数			
月	件数	月	件数
4 月	22	10 月	24
5 月	31	11 月	23
6 月	29	12 月	16
7 月	17	1 月	19
8 月	27	2 月	18
9 月	10	3 月	20

・　地域福祉活動サポーターによる見守り活動

各校下の支援課題に合わせて「見守り・声かけ活動」を推進。各校下の取り組み状況に応じて、地域住民が主体となって課題や支援方法を考えられるように助言・指導

コロナ禍による外出自粛期間の長期化にともない、電話による安否確認を中心に行い、気になる方については訪問するなどの見守り活動を行う。

見守り件数…延 3,067 件

地域福祉活動サポーターによる個別の見守り件数			
月	件数	月	件数
4 月	324	10 月	294
5 月	245	11 月	214
6 月	340	12 月	276
7 月	243	1 月	233
8 月	233	2 月	262
9 月	239	3 月	164

オ　前記ア～エについて、それぞれの活動が、つながりづくりや見守り活動として有効に機能するよう連絡会を開催

・　各校下において開催された地域ケアネットワーク連絡会開催

東小橋	大成	今里	中道	北中道	中本	東中本	神路	深江	片江	宝栄	合計
6	6	5	6	5	11	10	12	6	11	11	89

Ⅲ　市・区・市社協からの事業受託による事業

・　ケアネットワーク連絡会において地域活動者と専門職が共有・検討した個別事例数

東小橋	大成	今里	中道	北中道	中本	東中本	神路	深江	片江	宝栄	合計
18	6	12	6	3	36	23	41	1	81	47	274

地域の活動から気づき、見つけられた困りごとや、支援を必要とする課題などがしっかりと検討され、地域の見守り活動や専門職の支援として継続的につながっている。

・　地域福祉活動サポーター連絡会の実施　12 回

③　要援護者への個別支援のためのコーディネート業務

地域福祉活動サポーターによるコーディネート（事例紹介）

おまもりネット登録促進のため、憩の家以外の場所として銀行での出張相談会を実施。銀行に来られた高齢者夫婦が興味を持たれ、登録手続きをするとともに話を伺うと、最近引っ越してきたばかりで知人がいないことや、夫人に少し認知症の疑いがあることなどの相談もされる。会館での講座やイベントを紹介したところ大変喜ばれ、翌週からご夫婦で地域の行事に積極的に参加し交流をはかっている。

④　地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業との連携

見守り相談室が行う要援護者の見守りネットワーク強化事業との連携

・　地域ケアネットワーク連絡会を活用し、見守りに同意された方の情報を活動者と共有

・　見守り相談室に登録のある認知症高齢者等の行方不明時の早期発見につながるよう連携

15　生活福祉資金等貸付事務事業　　（事業活動支出　7,717,737 円）

低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に、資金の貸付と民生委員による必要な生活支援を行うことにより、経済的自立および生活意欲の助長促進ならびに在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう実施した。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方に向けた緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付の相談、申請の受付を行った。

①　貸付相談実績（新型コロナウイルスの影響を踏まえた特例貸付けを除く）

・　総合支援資金　　16 件（内訳：電話 11 件、来所 5 件）申請受理 1 件

・　緊急小口資金　　320 件（内訳：電話 218 件、来所 102 件）申請受理 10 件

・　教育支援資金　　285 件（内訳：電話 200 件、来所 85 件）申請受理 12 件

・　生活福祉資金　　104 件（生活必要品購入 1 件）　貸付合計額　8,193,000 円

②　コロナ特例貸付相談実績（世帯への貸付）令和 4 年 9 月 30 日で受付終了

貸付相談種別	貸付内容	電話相談	窓口相談	申請受理
緊急小口資金	20 万円以内	451	270	134
総合支援資金	単身世帯 15 万円以内 複数世帯 20 万以内 3 ヶ月以内	451	270	110
償還猶予	（12 月～）	418	180	50
フォローアップ支援（12 月～）		171	80	
合計		1,491	800	294

Ⅲ　市・区・市社協からの事業受託による事業

16　東成区老人福祉センター　（事業活動支出　17,241,110 円）

コロナ禍ではあったが、高齢者の生きがいづくりや社会参加を支援する地域の拠点施設として、区役所や老人クラブ等と連携し、利用者・区民の方々とも協働し事業を行った。

【延利用人数】24,814 人　前年度比 8,059 人増

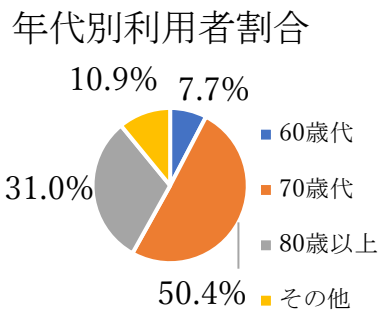
【利用登録者数】518 人　※ 新規利用者 104 人

【定例・特別事業】延 272 回　3,101 人が参加

【各種相談】延 3,038 人

【サークル･同好会の活動】34 サークル

延 1,530 回　17,172 人が参加



①　高齢者の元気づくり 区拠点としての施設づくり

ア　自主サークル活動の育成と支援・参加促進

事　業　名	開催回数	参加人数
肩こり・腰痛を改善するアロマストレッチ講座	1 回	15
阿波踊り体験	1 回	23
作品展（図書館）	2 回	5
老人福祉センター玄関ギャラリー（常設）	12 回	37

イ　生きがい探求のきっかけとなる講座等の開催

事　業　名	開催回数	参加人数
いちょう学園	3 回	82
パソコン、スマートフォン講座	29 回	146
音楽サロン	6 回	180

ウ　高齢者と家族・地域関係者に役立つ「くらし福祉講座」

事　業　名	開催回数	参加人数
高齢者の交通安全、特殊詐欺等防犯のお話	51 回	1,021
失敗しない相続の講座と相談会	2 回	63
消防訓練・消防のお話	5 回	117

エ　利用者等との合同での事業企画･行事実施と交流･生きがいづくりの支援

事　業　名	開催回数	参加人数
懐かしの写真展	1 回	343
区長杯　グラウンドゴルフ大会	1 回	60

オ　高齢者福祉月間行事

事　業　名	開催回数	参加人数
大阪市高齢者福祉大会への参加	0 回	0

Ⅲ　市・区・市社協からの事業受託による事業

カ　健康づくり・介護予防促進

事　業　名	開催回数	参加人数
いきいき百歳体操普及講座・おさらい会	4 回	83
食と栄養　クッキング教室	1 回	15
健康寿命を延ばそう講座（ヤクルト・雪印）	4 回	96

②　福祉のまちづくり応援 あったか施設づくり【生きがい発信拠点施設づくり含む】

ア　自主的な地域活動・ボランティア活動参加の支援＋広報活動他

事　業　名	開催回数	参加人数
ふれあい広場	1 回	6

イ　世代間交流の促進

事　業　名	開催回数	参加人数
さつまいも掘り・贈呈	1 回	34
コキア収穫・贈呈	1 回	34

③　生きがい活動モデルの発信 拠点施設づくり

ア　広報活動

・　「老人福祉センターだより」の定期発行

（年 12 回毎月 1,500 部と季刊号年 4 回発行）

イ　老人クラブ・憩の家の活動支援と協働

・　いちょう学園、歩こう会、グラウンドゴルフ大会

ウ　相談支援・情報提供・企画発信力の充実

・　「いきいきシニア活動マップ 2023」の発行

・　情報紙「すこやか 2022」の発行･配布

・　東成だより･区社協等関係広報紙･ホームページでの周知

・　サークル活動の作品展示の場を確保

（図書館、館内）

・　「高齢者の生きがいと健康づくり総合推進会議」事務局

（事業の企画と運営）

情報紙すこやか

いきいきシニア活動マップ

老人福祉センターだより

Ⅲ　市・区・市社協からの事業受託による事業

17　東成区子ども・子育てプラザ　※子育て活動支援事業　（事業活動支出　32,470,003 円）

次代を担う子どもの健やかな育成を図り、家庭や地域の子育て力を高めるため、在宅で子育てを行っている家庭や地域の子育て活動を支援するとともに、乳幼児期の親子や子育て支援関係者、就学期の子どもたちへの支援を行った。

【年間利用者数 16,485 人（6,115 人増）／延べ相談件数 130 件（16 件増）】

①　子育て情報の収集･提供

・　『東成区子ども・子育てプラザ通信』の発行。【総発行部数 6,060 部（390 部減）】

・　子育て支援情報紙『ふれあい子育てねっと』の発行（編集委員参加）。【6 回発行】

・　区内及び近隣区の子育て情報等を収集し、館内の情報コーナー等を使って提供した。

・　プラザ情報及び区内の子育て情報を掲載するホームページを新たに立ち上げた。

【1 ヶ月あたりのページ view 回数　989 回】

トップページ

区内の子育て情報ページ

②　自主的な子育て活動への支援

・　出前講座を通して、地域の子育て支援者や団体に対し、プログラムの提供や遊びの指導などを行ない、地域における子育て支援力の強化を図った。【実施回数 31 回（29 回増）】

③　子育て中の親子への支援

・　子どもの成長を感じられる行事や、相談できる仲間づくりできる機会を提供した。

【実施回数 247 回（12 回増）／延べ参加人数 3,931 人（909 人増）】

・　「プレママ・プレパパ講座」の実施。【実施回数 12 回／延べ参加人数 161 人（49 人減）】

ひよこルーム

ハロウィンのつどい

プレママ・プレパパ講座

④　児童の健全育成

・　地域や学校との連携を強め、大人と子どもが一緒に様々な体験を共有する機会や、子どもたちが自ら学び・考え・主体的に判断できる企画（イベント・行事）を実施した。

【延べ参加人数 1,493 人（1,050 人増）】

ハロウィンチャレラン

ボランティア体験

Ⅲ　市・区・市社協からの事業受託による事業

⑤　地域関連への取り組み世代間交流等

・　地域関連事業「にこにこ広場」へ協力【実施回数 4 回／延べ参加人数 25 人（29 人減）】

・　世代間交流事業【実施回数 3 回／延べ参加者数 199 人】

⑥　ファミリー･サポート･センター事業

子どもの預かり・幼稚園や保育所などへの送迎など、臨時的・突発的な保育ニーズに応えるために、子育ての援助を行いたい人（提供会員）と援助を受けたい人（依頼会員）を組織化し、会員同士による子育ての相互援助活動を実施するための調整業務等を行った。

【登録会員数 117 人（14 人減）／活動実施件数 307 件（86 件減）】

・　提供会員の増員を目的とした「子育て支援ボランティア養成講座　兼　大阪市ファミリー・サポート・センター事業提供会員養成講座」を開催した（城東区と共催）。

【全 8 回／受講者数 16 人（7 人増）／修了者 10 人】

・　会員のスキルアップと会員同士の交流を目的とした交流会・学習会を開催した。

【学習会等実施回数 2 回／延べ参加人数 15 人】

・　会員同士の横のつながりづくり、活動へのモチベーションアップを目的に、提供会員・両方会員で構成する「もみじのて」の立ち上げ支援を行った。【実施回数 6 回】

「もみじのて」ロゴ

定例会の様子

・　事業案内チラシを作成し、関係機関、保育所・幼稚園、企業へ積極的な周知を行った。

⑦　地域子育て支援拠点事業

乳幼児とその保護者が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で交流を図る機会として、安心して遊べる安全な場所（つどいの広場）を提供した。【延べ参加人数 9,207 人（2,830 人増）】

・　子育て支援講座等の実施。【実施回数 15 回（6 回増）／延べ参加人数 169 人（103 人増）】

つどいの広場

ベビービクス

ブックスタート

・　支援が必要と思われるケースについては、子育て支援室等と連携し、情報交換、意見交換を行いながら適切な見守りや支援を行った。【相談件数 130 件（31 件増）】

・　ブックスタート事業の実施【実施回数 25 回（5 回増）／延べ参加人数 169 人（3 人増）】

⑧　区独自事業・区内連携事業等

・　区の「利用者支援事業」と連携し、プラザでの出張相談や「すくすく・つながるフェア」などの取り組みに協力した。【出張相談会　実施回数 5 回／延べ参加人数 42 人】

・　区役所や関係機関と連携し、区域の大型イベント「すくすく・つながるミニ運動会」

Ⅲ　市・区・市社協からの事業受託による事業

「ふれあい広場」「安心安全フェスタ」等に参画し実施した。

・　区内の子育て支援団体と協働する機会として、「プラザフェスタ」を開催した。

・　幼少期から絵本になじむ機会を提供することを目的として、図書館との連携により「おいでよ！絵本のひろばへ　～絵本でつながれ！子育てを楽しく～」を開催した。

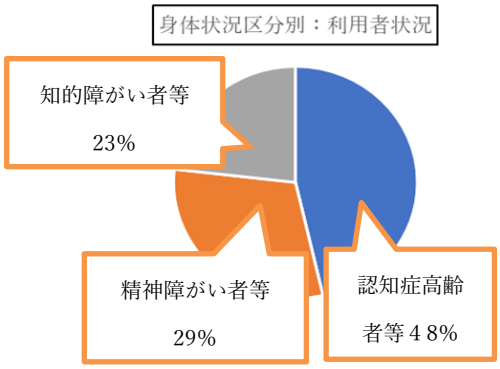
すくすく・つながるミニ運動会

プラザフェスタ

おいでよ！絵本のひろばへ

18　日常生活自立支援事業（あんしんさぽーと事業）　　（事業活動支出　1,873,988 円）

在宅や社会福祉施設で生活している認知症や知的障がい、精神障がいがいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、本人との契約に基づき福祉サービスなどの利用援助、日常的な金銭管理を行った。



ア　利用者状況

認知症高齢者／32 人　　知的障がい者／15 人　　精神障がい者／19 人　合計　66 人

イ　相談援助件数累計

対象者	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合　計
電話・来所(延べ回数)	807	494	827	10	2,138
訪問(延べ回数)	805	315	408	0	1,528
合　計	1,612	809	1,235	10	3,666

ウ　契約締結及び終了件数累計

対象者	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	不明･その他	合　計
契約締結	5	2	1	0	8
終　　了	5	3	3	0	11

エ　あんしんさぽーと相談員の受講研修等

相談員研修　3 回　／　相談員連絡会　4 回　／　相談員スキルアップ連絡会　2 回

生活支援員現任研修　2 回